

契約変更理由書

神戸市

工 事 名	房王寺線街路築造工事（その7）
<b>変更後の工事概要</b> ・土工 1式 照明施設工 1式 排水工 1式 舗装工 1式 <b>工期延長</b> 契約年月日 令和5年5月23日 完成期限 当初 令和7年8月31日 変更 令和7年9月30日 当初からの延長 30日間	
<b>設計変更の理由</b> ①現地踏査の結果、車両交通量が多く、通学路で学生の通行も多いため、防護柵工の数量を増とする。 ②周囲状況や地元協議により、防犯灯（9基）をデザイン照明に変更し、道路照明灯（7基）を景観色のものに変更する。 ③現地は縦断勾配がきつい歩道が続いており、地元要望もあったため、休憩用のベンチ（6基）を設置し、木陰のある休憩場所となるようにベンチ周辺に植樹・植栽工を増工とする。 ④山麓線と房王寺線間の壁面から生えている草木が、取付け道との視認に支障となっており見にくい状態である。また、工事整備範囲の草木も繁茂しており、地元要望でも工事範囲付近歩道上への落ち葉や歩行者の支障になっている箇所もあるため、草刈、伐採が増工となる。 ⑤交差点から南側の工事において、交通を維持しながら、現況から計画高さまで下げる必要があるため、仮舗装をしてから本舗装を行う。この区間は縦断勾配がきつく、大きくカーブするため、左右の仮舗装と左右の高さ擦り付けのため中央部の仮舗装が必要になり、規制が長区間にわたる。それに加えて北側・南側取り付け道も含め広く交通規制する必要性が生じたため、交通誘導員が増員となる。 また交差点南側は縦断勾配が非常にきつく曲がり角となる。そのため、この区間の工事期間中は特に南進方向の車が危険であることから、公安委員会からの指導もあり、事故防止を目的に規制車を設置する。 ⑥当初、交差点部の交通を維持しつつ現道から1m下げるためにある程度ブロック分けしながら下げる計画であったが、現地踏査時に、交差点部の交通量が想定より多く、地下埋設物の移設等の調整で、より細かくブロック分けしながら少しずつ下げる必要があり、仮舗装が増工となる。 また、交差点南側の中央部の仮舗装も増工となる。当初より長期間にわたり仮舗装で交通開放することとなった。そのため、当初より路床改良が必要な地盤が弱い箇所については、仮舗装に下層路盤を増工とする。 ⑦仮舗装・下層路盤の増工に伴い、舗装版破碎・掘削や廃路盤材の運搬処分も増工となる。また、掘削時に当初想定していなかった埋設コンクリート構造物が見られたため、撤去運搬処分が増工となる。	

⑧住宅や店舗への乗り入れがあり、各協議により街渠・舗装の施工について、影響を考慮し夜間施工とする。

#### **工期延長**

なお、交差点部のブロック分けしながらの施工やカーブ区間の仮舗装に想定より時間を要することから、工期を30日延長するが付議対象外である。